

KENWOOD

コンパクトハイファイシステム

M-EB50

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

• もくじは4ページにあります。



MP3



株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation



ユーザー登録
のすすめ

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) をお願いしています。
ご登録いただけますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。



●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

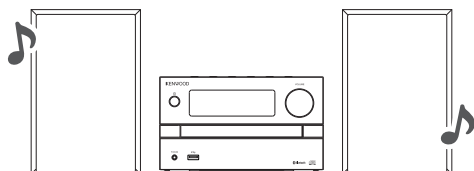
<https://jp.my-kenwood.com>

はじめに

本機を楽しむには

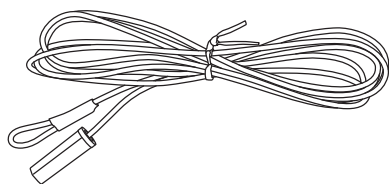
音声を楽しむために準備しましょう

スピーカーと接続しましょう (p. 10)



ラジオを聴きたい方は、アンテナを接続しましょう

FM アンテナを接続する (p. 11)

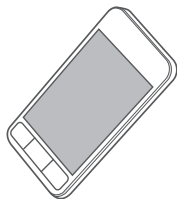


お知らせ

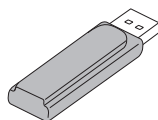
- FM アンテナは本機に付属しています。

いろいろなソース(音源)を聴きましょう

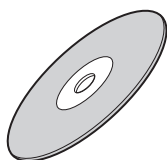
BLUETOOTH 機器 (p. 14)



USB メモリー (p. 17)



CD (p. 17)



ラジオ (p. 22)



本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3 の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調整して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

レーザー製品についてのご注意

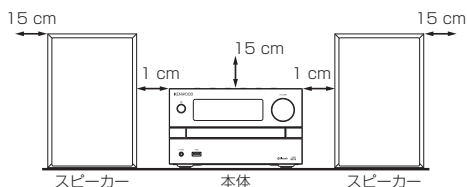
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

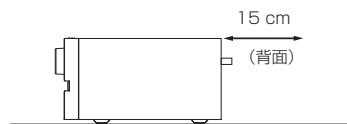
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

| | | | |
|---------------------------|----|---------------------------|----|
| はじめに | 2 | ラジオを聴く | 22 |
| 本機を楽しむには | 2 | 放送局を受信する | 22 |
| 本機を設置するときは | 3 | 受信状態を改善する(アンテナ調整) | 22 |
| 準備する | 5 | 放送局を記憶させる(プリセット) | 23 |
| 付属品を確認する | 5 | その他の機能 | 24 |
| 各部の名称 | 6 | サウンドモードを使う | 24 |
| リモコン | 6 | その他の情報 | 25 |
| 本体前面 | 7 | オートパワーセーブ(節電機能)について | 25 |
| 本体上面 | 8 | 使用できる BLUETOOTH 機器 | 25 |
| 本体背面 | 9 | USB メモリーのご注意 | 25 |
| 接続する | 10 | 再生できる CD とファイル | 25 |
| スピーカーを接続する | 10 | CD-R / CD-RW のご注意 | 25 |
| FM アンテナを接続する | 11 | MP3 ファイルのご注意 | 26 |
| 電源コードを接続する | 12 | ファイルの再生順について | 26 |
| ヘッドホンを接続する | 12 | お手入れについて | 27 |
| 基本操作 | 13 | 商標 | 27 |
| 電源を入れる/切る | 13 | 故障かな?と思ったら | 28 |
| いろいろなソース(音源)を聴く | 13 | 主な仕様 | 30 |
| BLUETOOTH 機器を聴く | 14 | 保証とアフターサービス | 34 |
| BLUETOOTH 機器を接続する | 14 | 無料修理規定 | 35 |
| BLUETOOTH 機器の基本操作 | 15 | | |
| 接続を解除する | 15 | | |
| 電波について | 16 | | |
| USB メモリー / CD を聴く | 17 | | |
| USB メモリー / CD を準備する | 17 | | |
| USB メモリー / CD の基本操作 | 18 | | |
| プログラム再生をする | 19 | | |
| リピート再生をする | 21 | | |
| ランダム再生をする | 21 | | |

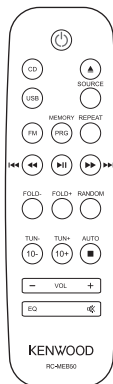
準備する

付属品を確認する

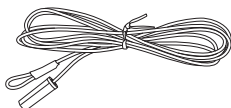
お使いになる前にお確かめください。

リモコン (1個)
RC-MEB50

リモコン用単4形乾電池 (1本)



FM簡易型室内アンテナ (1本)

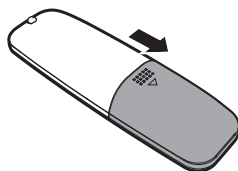


リモコンを準備する

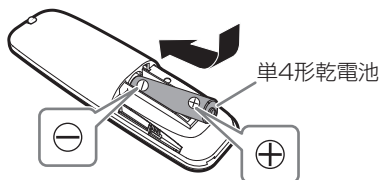
電池を入れる

電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。

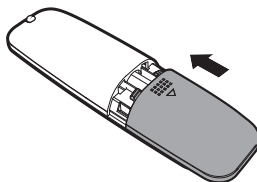
1 リモコン背面のカバーを開ける



2 電池を入れる



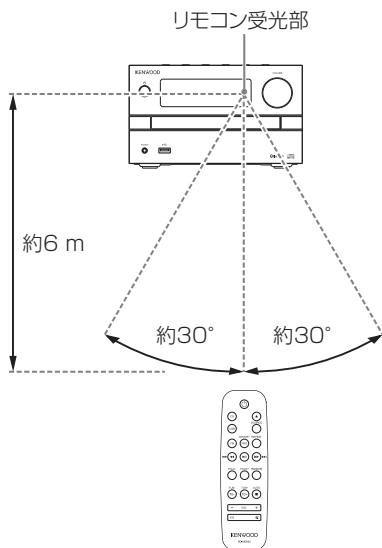
3 カバーを閉める



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 落としたりぶつかけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

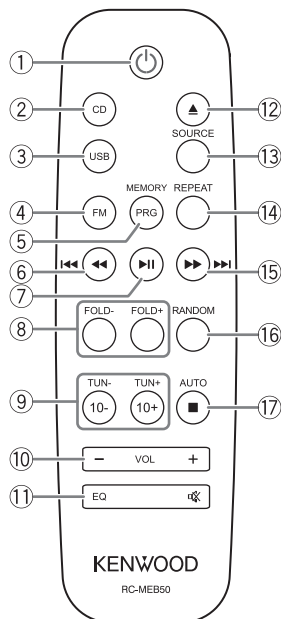
操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

各部の名称

リモコン



① (電源) ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

② CD ボタン

ソース(音源)を CD に切り換えます。

③ USB ボタン

ソース(音源)を USB に切り換えます。

④ FM ボタン

ラジオ放送(FM)に切り換えます。

⑤ MEMORY (PRG) ボタン

USB メモリーまたは CD のプログラム再生をします。また、ラジオの放送局を手動で記憶させます(マニュアルプリセット)。

⑥ ◀◀(▶▶) ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早戻しします。

⑦ ▶▶ ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生/一時停止をします。

⑧ FOLD - / FOLD + ボタン

USB メモリーまたは CD のフォルダーを選びます。

⑨ TUN - (10-) / TUN + (10+) ボタン

ラジオの放送局を選びます。

⑩ VOL (- / +) ボタン

音量を調節します。一側を押すと音量が下がり、+ 側を押すと音量が上がります。

⑪ EQ / ㊦ ボタン

EQ 側を押すと、サウンドモードを選べます。㊦ 側を押すと、音量を一時的に消音します。

⑫ ▲ ボタン

CD トレイを開閉します。

⑬ SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

⑭ REPEAT ボタン

USB メモリーまたは CD のリピート再生をします。

⑮ ▶▶(▶▶) ボタン

設定項目や曲などを選びます。押し続けると曲を早送りします。

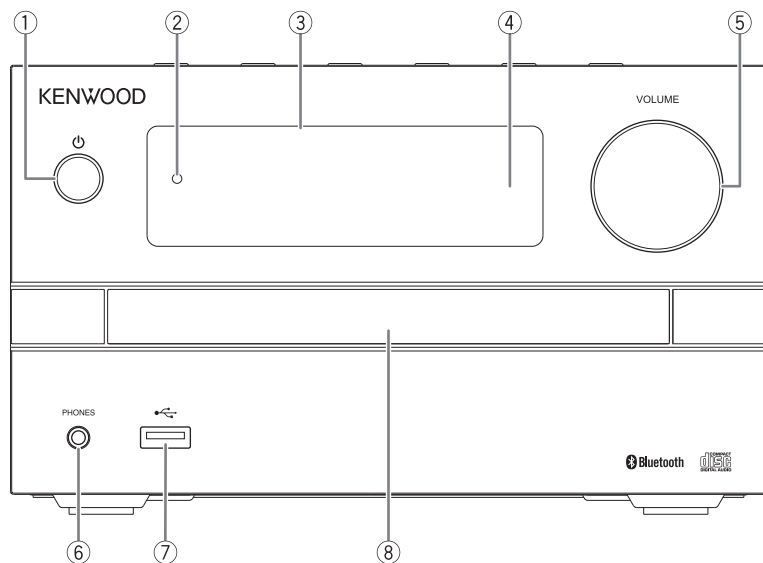
⑯ RANDOM ボタン

USB メモリーまたは CD のランダム再生をします。

⑰ AUTO (■) ボタン

ソース(音源)の再生を停止します。また、ラジオの放送局を自動で記憶させます(オートプリセット)。

本体前面



① (電源) ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。

② スタンバイ インジケータ

本機の電源がオフ(スタンバイ)のときに、赤色に点灯します。

③ 表示部

本機の状態が表示されます。

④ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

⑤ VOLUME つまみ

音量を調節します。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⑥ PHONES 端子(ヘッドホン端子)

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑦ USB 端子

USB メモリーを接続します。

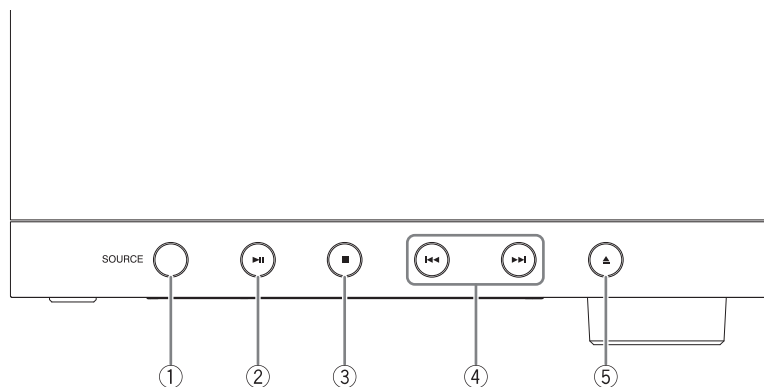
⑧ CD トレイ

CDを入れます。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

本体上面



① SOURCE ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

② ▶|| ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生 / 一時停止をします。

③ ■ ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリー、CD の再生を停止します。

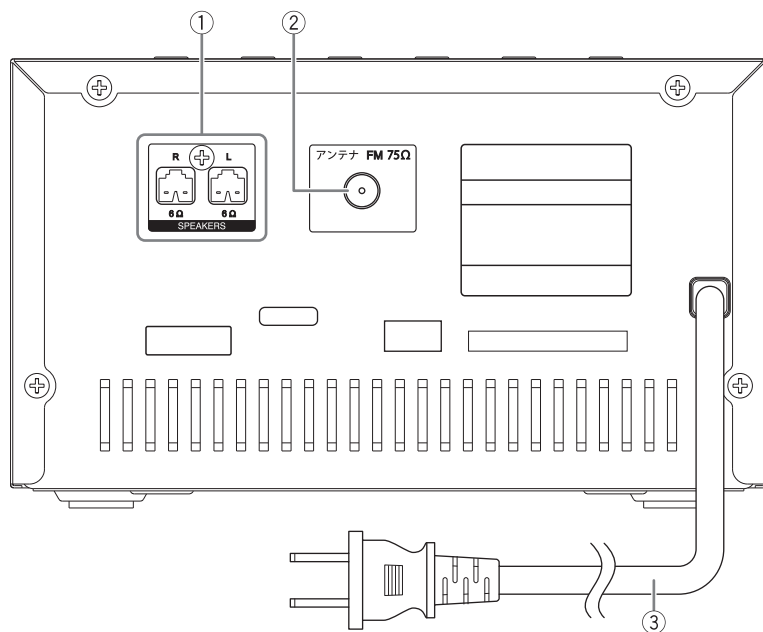
④ ◀◀/▶▶ ボタン

曲を選びます。押し続けると曲を早送り、早戻しします。

⑤ ▲ ボタン

CD トレイを開閉します。

本体背面



① SPEAKERS(6Ω)端子

付属のスピーカーを接続します。

② アンテナ FM 75Ω 端子

付属の FM 簡易型室内アンテナを接続します。

③ 電源コード

電源コンセントに接続します。

接続する

ご注意

- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

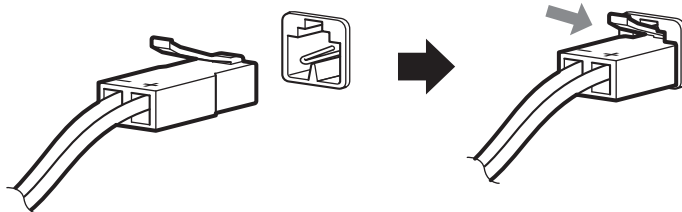
スピーカーを接続する

ご注意

- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- 他のスピーカーを使用すると故障の原因となることがあります。

本体へのスピーカーコードの接続

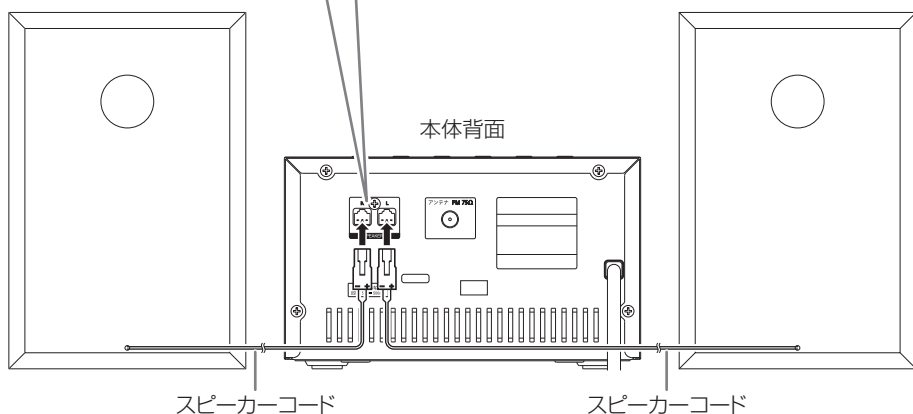
- ① 本体の端子とスピーカーコードの端子の向きをあわせる。
- ② カチッと音がするまで、スピーカーコードの端子を差し込む。



右側スピーカー背面

左側スピーカー背面

本体背面



スピーカーコード

スピーカーコード

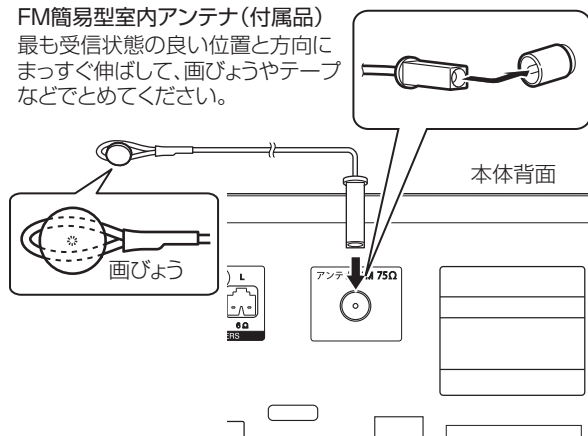
スピーカーの接続についてのご注意

- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

FM アンテナを接続する

FM アンテナの接続

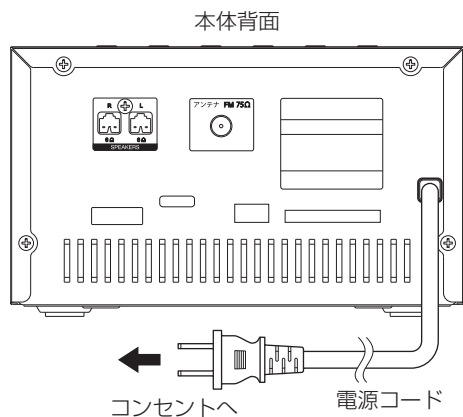
FM簡易型室内アンテナ(付属品)
最も受信状態の良い位置と方向に
まっすぐ伸ばして、画びょうやテープ
などでとめてください。



- 実際の放送を聴きながら、アンテナの設置場所を決めてください。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。



お知らせ

- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の3.5mm ステレオミニプラグ(3極タイプ)のヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン



本体



いろいろなソース(音源)を聴く

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン

SOURCE



(くり返し押す)

本体

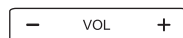
SOURCE



(くり返し押す)

2 音量を調節する

リモコン



(くり返し押す)

本体

VOLUME



(回す)

- 調節範囲: 0(MIN) ~ 32(MAX)
- リモコンのVOL(-/+)ボタンを押し続けると、連続して変わります。

一時的に消音する



(EQ 側を押す)

「MUTE」と表示され、一時的に消音します。

お知らせ

- もう一度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。
- ソース(音源)を切り換えると、消音が解除されます。

BLUETOOTH 機器を聴く

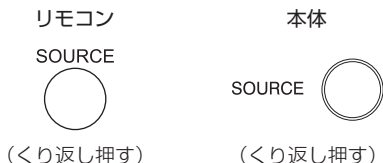
お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)してください。

BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 ソース(音源)を「BT」にする



2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

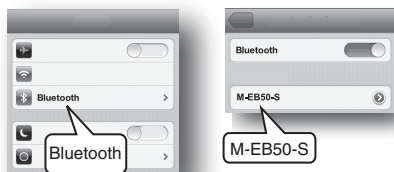
- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップする
または、
「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする
上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 相手機器で「M-EB50-S」を選ぶ

iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod touch) の画面例



ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ソース(音源)を「BT」に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

リモコン



本体



一時停止する

リモコン



本体



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

接続を解除する

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

ご注意

- 電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使用の環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲)ができない場合があります。
- 相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声が歪む場合がありますので、オフにしてください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

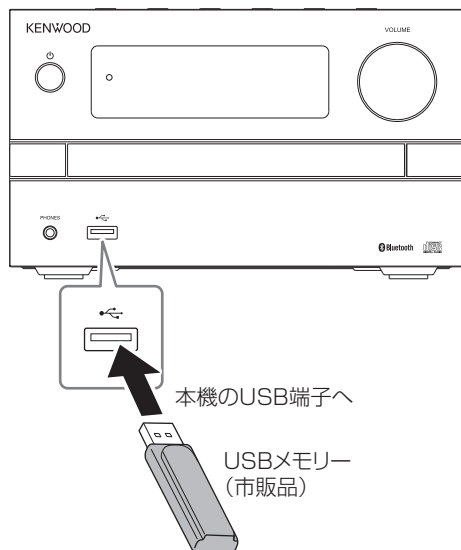
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー / CD を聴く

USB メモリー / CD を準備する

USB メモリーを聴くとき

USB メモリーを接続する



接続すると、USB メモリー内にあるファイル数の合計と USB メモリー名が表示されます。

ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 14)してください。

お知らせ

- 各ソース(音源)で USB メモリーを接続、または CD を入れると、認識後自動的に再生を始めます。

CD を聴くとき

1 CD トレイを開ける

リモコン

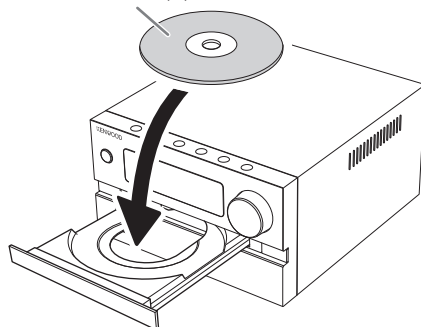


本体



2 CD を入れる

レーベル面



3 CD トレイを閉める

リモコン



本体



- CD 認識中は「READING」と表示されます。

プログラム再生をする

音楽 CD の場合は 20 曲まで、MP3 ファイルの場合は 99 曲まで、お好みの順で再生します。

お知らせ

- ・プログラム再生に登録できる曲数を超えると、「FULL」が点滅します。

1 プログラムモードを表示させる

停止中に

MEMORY



2 曲を選ぶ

音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

MP3 ファイルの場合

フォルダー番号とファイル番号を選ぶ

FOLD-

FOLD+



(くり返し押し)

(くり返し押し)

- ・ FOLD - / FOLD + ボタンでフォルダー番号を選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイル番号を選びます。

3 曲を登録する

MEMORY



4 手順 2~3 をくり返して、他の曲を登録する

5 再生する

リモコン



本体



- ・プログラムした順序で曲が再生されます。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

1 プログラム内容の確認モードを表示させる プログラム再生停止中に

MEMORY



2 曲を選ぶ

音楽 CD の場合

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

MP3 ファイルの場合

フォルダー番号とファイル番号を選ぶ

FOLD-

FOLD+



(くり返し押す)

(くり返し押す)

- FOLD- / FOLD+ ボタンでフォルダー番号を選んでから、[◀◀] / [▶▶] ボタンでファイル番号を選びます。

3 曲を登録する

MEMORY



- プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラム再生を解除し内容を消去する

プログラム再生停止中に

リモコン

AUTO



本体



すべてのプログラムの内容が消去されます。

- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。

- 電源を切る
- ソース(音源)を変える
- ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
- ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

リピート再生をする

1 リピートの種類を選ぶ 再生中または停止中に



(くり返し押す)

REP ONE : 現在の曲をくり返します。
設定中は「REP」アイコンが表示されます。

REP ALB* : 現在のフォルダーの曲をくり返します。
設定中は「REP」アイコンが表示されます。

REP ALL : USB メモリーまたは CD のすべての
曲をくり返します。
設定中は「REP」アイコンおよび「ALL」
アイコンが表示されます。

OFF : リピート再生を解除します。

* MP3 のみ

2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



お知らせ

- ・プログラム再生中に「REP ALL」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

再生中または停止中に

「OFF」を選ぶ



(くり返し押す)

- ・以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

ランダム再生をする

再生中または停止中に

「RANDOM」を選ぶ



お知らせ

- ・フォルダー内ランダムではなく、全曲ランダムになります。

ランダム再生を解除する

ランダム再生中または停止中に

「OFF」を選ぶ



- ・以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす

ラジオを聴く

ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。
(p. 11)

放送局を受信する

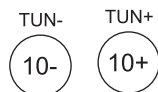
受信方法は、オートとマニュアルの2種類があります。

1 ソース(音源)を「FM」にする



2 放送局を選ぶ

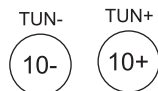
オートで選ぶ場合



(約2秒間押し続ける)

- 押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押しします。

マニュアルで選ぶ場合



(くり返し押し)

- くり返し押しすと、0.1 MHz ずつ受信周波数が変わります。
- FM ステレオ放送を受信すると、「ST」アイコンが点灯します。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、付属のFM簡易型室内アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属のFM簡易型室内アンテナを窓際に近づけてください。
- 付属のFM簡易型室内アンテナで放送を良好に受信できない場合は、市販の屋外用のFMアンテナの設置をおすすめします。

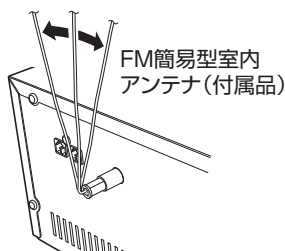
FMアンテナを調整する

付属のFM簡易型室内アンテナを調整し、固定します。

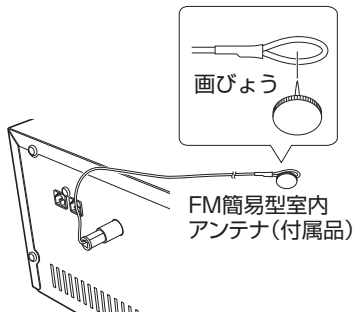
1 FM放送を聴きながら、FMアンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。

付属のFM簡易型室内アンテナはできるだけ窓の近くや、屋外に面した壁側に設置することをおすすめします。



2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようご注意ください。
- 付属のFM簡易型室内アンテナが結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM放送局を、最大30局まで記憶させることができます。

自動で記憶させる(オートプリセット)

リモコン

AUTO



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

- 周波数順に最大30局まで自動で記憶されます。

手で記憶させる(マニュアルプリセット)

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット番号を表示する

MEMORY



3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押す)



(くり返し押す)

4 記憶させる

MEMORY



記憶した放送局を呼び出す

リモコン

本体



(くり返し押す)



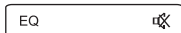
(くり返し押す)

- FMステレオ放送を受信すると、「ST」アイコンが点灯します。

その他の機能

サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。



（「EQ」側を押す）

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

- FLAT : 音質をフラットにしたいとき
- JAZZ : ジャズを聴くとき
- CLASSIC : クラシックを聴くとき
- ROCK : ロックを聴くとき
- POP : ポップミュージックを聴くとき

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。

その他の情報

オートパワーセーブ(節電機能)について

以下のいずれかの状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れます。

| ソース(音源) | 本機の状態 |
|-----------|--|
| BLUETOOTH | <ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声入力がないとき |
| USB | <ul style="list-style-type: none">• USB メモリーを接続していないとき• 停止状態のとき |
| CD | <ul style="list-style-type: none">• CD がないとき• 停止状態のとき |

お知らせ

- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分後に電源が切れます。
- オートパワーセーブ機能はオフにできません。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH 5.0+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

USB メモリーのご注意

- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

再生できる CD とファイル

- CD 規格(CD-DA)に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生するときは、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

| | |
|------|--|
| CD | 下記のマークのある CD を再生することができます。  |
| ファイル | <ul style="list-style-type: none">• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW• CD-R/CD-RW の MP3 ファイル |

CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用する時、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3 ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3 ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3 ファイルのご注意

- 再生できる MP3 ファイルは<.mp3>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3 ファイルを再生できます。

サンプリング周波数

| オーディオファイル | サンプリング周波数 |
|-----------|----------------------------|
| MP3 | 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz |

転送レート

| オーディオファイル | 転送レート |
|-----------|--------------------|
| MP3 | 32 kbps ~ 320 kbps |

- DRM (著作権保護) ファイルはスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応しておりません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。

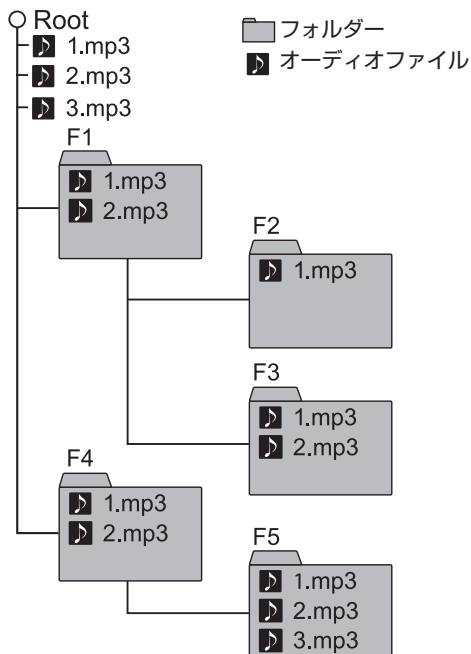
ファイルの再生順について

オーディオファイルは、CD-R/CD-RW や USB メモリーなどの Root (ルート) にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

フォルダー構成例



ファイルの再生順

- 1 曲目 : 1.mp3
- 2 曲目 : 2.mp3
- 3 曲目 : 3.mp3
- 4 曲目 : F1_1.mp3
- 5 曲目 : F1_2.mp3
- 6 曲目 : F2_1.mp3
- 7 曲目 : F3_1.mp3
- 8 曲目 : F3_2.mp3
- 9 曲目 : F4_1.mp3
- 10 曲目 : F4_2.mp3
- 11 曲目 : F5_1.mp3
- 12 曲目 : F5_2.mp3
- 13 曲目 : F5_3.mp3

お知らせ

- もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンで USB メモリー内の音楽をデスクトップにフォルダーごとコピーし、曲名の先頭に「01...MP3」、「02...MP3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーにフォルダーごと書き込んでください。

お手入れについて

CDの取り扱いとお手入れ

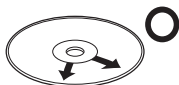
ケースから出すとき



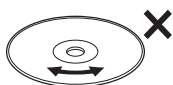
ケースに入れるとき



- CDにテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc.の商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<http://www2.jvckenwood.com/>

から最新のFAQ(よくあるご質問)情報をご覧いただくことで解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前に、ホームページや以下の項目をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは本機をリセットしてください。

本機を操作できないときや、表示部が誤表示されるときなどは、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

- 1 電源コードのプラグをコンセントから抜く
- 2 電源コードのプラグを再度コンセントに差し込む
- 3 本機の電源が切れている(スタンバイ)状態で、本体の▶▶ ボタンを押し続ける
- 4 表示部が点灯したら、リモコンのAUTO(■)ボタンを押す
 - ・「RESET」と表示され、自動的に電源が切れます。
- 5 電源コードのプラグをコンセントから抜く
- 6 電源コードのプラグを再度コンセントに差し込む
本機がリセットされ、お買い上げ時の状態となります。

共通

電源が入らない。

- ➡ 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
- ➡ 電源コードをコンセントから抜いて、1分程度経ってから差し込みなおしてください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていますか。
- ➡ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聴こえない。

- ➡ 音量が最小になっていませんか。
- ➡ 消音を解除してください。
- ➡ ヘッドホンをはずしてください。
- ➡ スピーカーが正しく接続されているか確認してください。(p. 10)

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

音が出ない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の音声出力設定を確認してください。改善されない場合は、BLUETOOTH 機器を再起動してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

USB メモリー／CD

再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を上に入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。(p. 27)
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続してください。(p. 14)

MP3 のフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- ➔ 再生順は、フォルダーやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3 ファイルを再生してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3 ファイルを転送して再生できるかお試しください。

ラジオ

放送が聴こえない。

- ➔ アンテナを正しく接続してください。(p. 11)

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ FM アンテナを調整してください。(p. 22)
- ➔ 窓際などで受信できるかお試しください。

主な仕様

本体(R-MEB50)

アンプ部

実用最大出力: 25 W + 25 W (JEITA* 6Ω)

CD プレーヤー部


読み取り方式: 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

アンテナ: FM: 75 Ω 不平衡型

入出力端子

USB: 出力: DC 5 V  500 mA
仕様: USB1.1 フルスピード
対応機器: USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム: FAT16, FAT32
対応ファイル形式: MP3

PHONES: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 5.0 + EDR
送信出力: Class 2
最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯
対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
対応コーデック: SBC
対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

共通部

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 電源: | AC 100 V、50 Hz / 60 Hz |
| 消費電力: | 25 W (定格消費電力) 0.5 W 以下 (電源待機時) |
| 最大外形寸法: | 幅 200 mm × 高さ 119 mm × 奥行き 241 mm |
| 質量: | 1.6 kg |

スピーカー

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| システム: | 2 ウェイ バスレフ型 |
| スピーカーユニット: | ウーファー: 11 cm コーン型 ツイーター: 4 cm ドーム型 |
| インピーダンス: | 6 Ω |
| 最大入力: | 35 W |
| 最大外形寸法: | 幅 134 mm × 高さ 202 mm × 奥行き 221 mm |
| 質量 (1 本あたり): | 1.7 kg |

*は JEITA (電子情報技術産業協会) の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

<メモ>

保証とアフターサービス

1. 保証について

- ・保証期間—お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- ・お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- ・録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- ・保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
 - ・保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
 - ・出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
 - ・修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
 - ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
 - ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- ・修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- ・ This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えば回転機器のベルト、乾電池、充電電池、イヤークリップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ・ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ・ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

固定電話からのご利用はフリーダイヤル：0120-2727-87

携帯電話からのご利用はナビダイヤル：0570-010-114

一部IP電話からのご利用は：045-450-8950

受付時間：月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日には休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

| | | | |
|---------|----------------|------|-------------------|
| 品名 | コンパクトハイファイシステム | 型名 | M-EB50 |
| 保証対象 | 本体 | 保証期間 | (お買い上げ日より) 1年間 |
| ※お買い上げ日 | 年 月 日 | | |
| ※お客様 | お名前 様 | | |
| | ご住所 | | |
| | 電話番号 | | |
| ※販売店 | 店名 | | |
| | 住所 | | |
| | 電話番号 () | | |

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12